

# 花火や火遊びによる火災を防ぎましょう

夏は風物詩として「花火」があり、子どもたちにとって楽しい季節になりました。

しかし、花火も取扱いを誤ると、火災ややけどなどの事故につながりかねません。

火災ややけどなどの事故が起こらないよう、十分に注意して楽しい夏の思い出を作りましょう。



## 花火を安全に遊ぶポイント

- 1 気象条件を考え、風の強いときは花火をしない
- 2 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所で遊ぶ
- 3 子どもだけでなく大人と一緒に遊ぶ
- 4 説明書をよく読み、取扱い方法や注意事項を必ず守る
- 5 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につけ消火する

子どもの火遊びによる火災は、大人がいないときに発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ、火災が拡大する要因になります。

火遊びによる火災をなくすためにも、大人が子供たちに対して、火災の恐ろしさや正しい火の取扱い方法を教える必要があります。子どもの火遊びによる火災が起こらないよう、もう一度子どもたちと話し合うようにしましょう。



## 火遊びによる火災防止のポイント

- 1 子どもだけを残して外出しない
- 2ライターやマッチを子どもの手の届く所に置かない
- 3 子どもだけで火を取扱わせない
- 4 火遊びをしているのを見かけたら、はっきりと注意する
- 5 火災の恐ろしさ、火の取扱い方法についてきちんと教育する